

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床生理学 (作業療法学科)		選択	2	3	後期 (前半)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
稲場 直子	C303	naoko.inaba	水曜日 13:00 ~ 15:00 Teams 受付を原則とする		
授業の目的・概要	「根拠に基づく医療」の実践に必要な基盤となる生理学全般の基礎知識のうち、特に脳・神経、筋肉のはたらきの病態生理を適切に説明できる能力を身に付けることを目的とする。本科目は Teams を使った同時双方向型授業 (少人数グループワーク形式による TBL (チーム基盤型学習) および反転授業) 形式で実施する。				
学習上の助言	1、2年次に「生理学」「生理学演習」「生理学実習」で学習した内容を事前に復習しておくことが望ましい。予習・復習で疑問が生じた場合は、Teamsなどを介して随時質問し、早めに解決すること。				
教科書	理学療法士・作業療法士 PT・OT 基礎から学ぶ 生理学ノート 第3版 /著:中島 雅美/医歯薬出版				
参考書	生理学 第3版/著:内田さえ 他 /編:東洋療法学校協会/医歯薬出版株式会社 カラーイラストで学ぶ 集中講義 生理学 改訂2版 /編集:岡田隆夫 /メジカルビュー社				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	作業療法士に必要な脳・神経、筋肉の生理機能を理解し説明できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
②	作業療法士に必要な脳・神経、筋肉の病態生理を理解し説明できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
③	作業療法士に必要な筋原性疾患の病態生理を理解し説明できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
④	作業療法士に必要な神経原性疾患の病態生理を理解し説明できる。		HSU(1)~(5)、OT(1)~(3)		
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)		
1	オリエンテーション・総論	同時双方向型授業 少人数グループワーク形式による TBL (チーム基盤型学習) を行い、グループごとに反転授業形式で成果発表を実施する	小テスト形式の課題で復習する	2	
2	第1章 生理学総論 について学ぶ (反転授業準備)		小テスト形式の課題で復習する	4	
3	第1章 生理学総論 について学ぶ (反転授業)		小テスト形式の課題で復習する	4	
4	第2章 筋系 について学ぶ (反転授業準備)		小テスト形式の課題で復習する	4	
5	第2章 筋系 について学ぶ (反転授業)		小テスト形式の課題で復習する	4	
6	第3章 末梢神経系 について学ぶ (反転授業準備)		小テスト形式の課題で復習する	4	
7	第3章 末梢神経系 について学ぶ (反転授業)		小テスト形式の課題で復習する	4	
8	第4章 中枢神経系 について学ぶ (反転授業準備)		小テスト形式の課題で復習する	4	
9	第4章 中枢神経系 について学ぶ (反転授業)		小テスト形式の課題で復習する	4	
10	第5章 感覚器系 について学ぶ (反転授業準備)		小テスト形式の課題で復習する	4	
11	第5章 感覚器系 について学ぶ (反転授業)		小テスト形式の課題で復習する	4	
12	第6章 循環器系 について学ぶ (反転授業準備)		小テスト形式の課題で復習する	4	
13	第6章 循環器系 について学ぶ (反転授業)		小テスト形式の課題で復習する	4	
14	講義内容に基づく応用問題にチャレンジする		小テスト形式の課題で復習する	5	
15	これまでの学習の総括		小テスト形式の課題で復習する	5	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/基礎医学系/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	0	50	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する。評価割合は 50%とする。試験では授業中に取り組んだ課題を基本として講義内容に基づく応用問題を出題し、理解度を問う。				試験結果の返却とともに、正解を提示する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	授業中にグループワークを行い、グループごとに各学習項目をまとめ、学習成果を反転授業形式で互いに説明してもらう。その発表内容について、事前に提示したルーブリックに基づき学生同士の相互評価（個人評価・グループ評価）を実施する。評価割合は 50%とし、本科目の学習達成度と合わせて教員が判断する。				学生同士の相互評価の結果を提示する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>本科目は Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wifi 環境を推奨する。通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスが変更される可能性がある。</p> <p>グループメンバー全員で力を合わせ、授業時間内に課題をまとめることができるように心がけること。 やむを得ず実習を欠席する際は、必ず事前に教員およびグループメンバーに連絡をすること。</p> <p>担当教員：◎稲場直子</p> <p>実践的授業の内容：教員は、システム神経生理学分野で 20 年以上研究を続けてきている。その専門性を生かして学生に「根拠に基づく医療」の実践に必要な生理学全般の基礎知識および論理的思考力を教授する。 本科目では少人数グループワーク形式による TBL（チーム基盤型学習）を実施し、学生が反転授業形式で相互に学習成果を発表する。これらの経験を通し、学生に他者に説明できる能力を身に付けさせるとともに、他者と協力して目標を達成する能力を養わせる。</p>							